

進路指導の全体計画（中学校）（例）

学校の進路指導目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自らの生き方を考え、将来の職業選択に向けて目的意識をもって学習に取り組むことができるようにするとともに、生徒の意思を尊重することを前提として、生涯にわたって自己実現を目指すための能力や態度の育成に努める。</li> <li>総合的な学習の時間や各教科等での体験的な学習を通じて、生徒が自らの個性・特性及び長所を発見し、自信をもって生活できるよう指導する。</li> <li>生徒自らの手によって進路を切り拓く力を培うという観点から、生徒自身が情報を収集する活動を、計画的・系統的に実践できるよう、授業展開を工夫する。</li> </ul>	

各学年の目標		
1 学年	2 学年	3 学年
<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい学校生活に適応すると同時に、現在の自己をよく理解し、将来の進路実現に向けて努力できる生徒を育てる。</li> <li>自己の将来への夢と希望の実現のため、目標をもって充実した生活を送れるようにする。</li> <li>望ましい勤労観、職業観を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の自己をよく理解し、明確な進路希望や計画をもつとともに具体的、計画に沿った努力ができる生徒を育てる。</li> <li>地域にある職場を訪問したり職場体験をすることで、自分の能力を再発見し、進路計画を改善しながら実現しようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の自己の特性や希望する進路に関する情報を理解して、適した進路を選択し、実現に向けて努力できる生徒を育てる。</li> <li>将来に対する不安を解消し希望実現に向かって努力する態度を培う。</li> <li>自分の進路に誇りをもち、最高学年として責任ある行動がとれるようにする。</li> </ul>

すべての教育活動を通して行う進路指導				
教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	その他の教育活動
<p>① 人生について、人間的な考えを深め、生きる意欲を育む。課題の探究を通して、社会生活の基盤を築き、理論的に物事を解決する態度を養う。</p> <p>② 学習することと職業との関係に触れる。</p> <p>③ 自分や生徒の関心を高め、適切な題材を取り上げ、教科の中で自己の能力を伸ばさせる。</p>	<p>① よりよい生活態度を身に付け、価値観を高め、職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>② 職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>③ 自己の役割を認識し、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>④ 自己の役割を認識し、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>⑤ 自己の役割を認識し、社会生活に責任感を持つ。</p>	<p>① 人間性を育み、主体的な態度を身に付け、職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>② 職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>③ 職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>④ 職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p>	<p>① 自己の生き方を理解し、将来の進路について考え、職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>② 自己の生き方を理解し、将来の進路について考え、職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>③ 職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>④ 職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p>	<p>① 進路指導を効果的に進めるための体制を整備する。</p> <p>② 家庭や地域の連携を図り、教育活動を展開する。</p> <p>③ 保護者や卒業生などの働きかけを行い、職業観を深め、社会生活に責任感を持つ。</p> <p>④ 適切な進路相談や指導を行う。</p> <p>⑤ 個人の個性を理解し、他人の個性を尊重し、職業観を養わせる。</p>



中学校学習指導要領解説（総則、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間）及び、県総合教育センター研究紀要「生き方に迫る進路指導」（平成8年）を基に作成

